

「あひるの^{ちから}力」の「る」

「あひるの^{ちから}力」の「る」はルールを守りマナーを身につけることです。学校のルール、社会のルール、家庭でのルールを守り、人として大切なマナーを身につけることを今回のスクラムでお話します。

マナーとは人と人がお互いに不快な思いをせず気持ちよく過ごすための「行儀・作法」のことです。社会のマナーとしての交通マナーでは安全かつ円滑に気持ちよく通行するために譲りあいや気配りのことで、最近では道を譲ってもらったときハザードランプという点滅のライトを灯し後ろの車に感謝の気持ちを伝えます。また、電車内のマナーでは「お年寄りや障がいのある方、妊婦さんに座席を譲りましょう。」「電車内でのスマホの通話はご遠慮ください。」「整列乗車をお願いします。」というような多くのマナーが存在します。

「江戸しぐさ」という江戸時代の人たちが行っていたマナーを紹介します。実際に「江戸しぐさ」が行われていたのかは不明です。しかし、素敵なお話なので紹介します。

・傘かしげ：雨の日に狭い路地ですれ違う際に、お互いの傘を外側に少し傾けて傘が相手にかからないようにする気配り。

・こぶし腰浮かせ：乗り物などで後から乗ってきた人のためにこぶし一つ分ほど腰を浮かせて席を譲り座りやすくすること。

・七三の道：道の真ん中を歩くのではなく、自分が歩くのは道の三割にして残りの七割を緊急時に備え他の人のために開けておくこと。

みなさんはマナーを身につけていますか？授業中でのマナー、休み時間でのマナー、クラスや学年、学校でのマナーを一度考えてみてください。いろいろな部活動の試合を応援に行きますが素晴らしいマナーを発揮してくれているところを見かけます。さすが東生野の子どもたちと嬉しくなる瞬間です。マナーは他の人への優しさと思いやりです。

がんばりました。

男女バスケットボール部

第7エリア選抜選手 2年生男子3名 女子2名

卓球部

第4ブロック 1年生大会 個人3位